

# 2018 年度建築学会東北支部山形支所事業

## 建築物の保全活用に関するワークショップ

### ワークショップの目的

山形県内の建築物保全活用に向けた現状理解と、解決に向けて活動の核となる作業の確認およびそれに向けての実現イメージの共有：耐震診断；耐震補強；伝統的木造建築物の理解；制度要望など

モデルとする建造物と調査グループの希望者募集および次年度以降の成果発表

### ワークショップの内容

#### 1. 日時

11月17日（土）13：30～16：30（下記の通りメールで参加申し込みをしてください）

2月2日（土）13：30～16：30（上記ワークショップ後に改めてお知らせします）

#### 2. 場所

山形市 アズ七日町山形市中央公民館 5階 研修室（予定）

#### 3. 11月17日ワークショップの進め方

①建築物の保全活用事例と問題点：水戸部 裕行（羽田設計事務所）

②3つのグループに分かれてワークショップ

WS1(耐震診断・伝統的木造建築物)：五十嵐 庄七（庄設計）

WS2(耐震補強・構造)：藤原 薫（鈴木建築設計事務所）

WS3(保全活用計画)：安達 和之（羽田設計事務所）

③ 全体討論・司会：相羽 康郎（NPO まちづくり山形）

#### 4. 11月17日ワークショップの参加申し込み方法

メールでWS1～3から希望のワークショップを記入のうえ、氏名と所属を送信してください。

メール送信先：[yaaiba.yasuo@gmail.com](mailto:yaaiba.yasuo@gmail.com) ：締め切り10月22日（月）応募状況により第2次締め切り確保

#### 5. モデルとする建築物など

参加者のなかから、モデルとする建築物、街並みなどをご提供いただきました学会を活用していただきながらその調べをご報告いただき、今後の建築物保存活用の方法論の提示、

各機関への要望などを次年度以降に建築学会東北支部山形支所でとりまとめていく予定です。

当日の議論をするうえで対象を定めたほうがよい場合は、とりあえず以下の建築物をモデルとしてください。

山形北高等学校講堂；西村写真館

#### 当日配布予定資料

- A) 山形北高等学校講堂；西村写真館の概要データ
- B) 建築基準法における適用除外、既存不適格など法的な位置づけ
- C) 耐震診断と耐震補強に関する方法論の現状
- D) 建築物の保険制度
- E) 保存対象となっている建築物リスト事例：山形歴史たてもの研究会；じゃらん山形の歴史的建造物ランキング 70；山形県の農家住宅；他
- F) 海外の建築・地区保存：英国の建築保存制度；他